

事務事業名		防災まちづくり事業			☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	03 安全なまちづくりの推進			事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成元 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	07 防災対策の推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 地域防災体制の強化と防災教育の推進					01	08	02	03	02
根拠法令											
所属	部課名	都市整備部建設課									
	係名	土木係	電話	0192-27-3111							
			内線	316							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) この事業は、災害時の救急・救援体制を確保するため、現況幅員が狭い市道について、緊急車両の通行の確保と避難活動、救援活動が迅速に行なうことができるように、拡幅改良整備を行なうものである。 平成21年度までに、市道中野小細浦線、市道沼田3号線、市道中野小細浦線の事業を完了した。 平成22年度は、市道中野桑原線(用地買収、補償業務、工事施工)、市道崎浜上横2号線(補償業務、工事施工)の整備を行い、市道崎浜上横2号線については事業を完了した。 平成23年度は、市道中野桑原線(用地買収、補償業務、工事施工)の整備を行い、本路線については事業を完了する予定であったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、事業を一時休止する。 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。					全体計画(期間限定複数年度のみ)						
総投入量 (千円)					事業費	国庫支出金					
						都道府県支出金					
						地方債					
						その他					
						一般財源					
					人件費	事業費計(A)					
						正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計(B)					
						トータルコスト(A)+(B)					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
市道中野桑原線:用地買収(58㎡)、補償業務(立木・電柱・テレビ共同受信施設)、工事施工(119m)		ア	(年度毎の)施工延長
市道崎浜上横2号線:補償業務(立木・電柱)、工事施工(146m)		イ	整備率(計画箇所の改良済延長/事業を行っている箇所の計画総延長)
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
一時休止のため無し			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
緊急車両の進入が困難な市道(H22:中野桑原線・崎浜上横2号線)		名称	
市道利用者(路線周辺の住民)		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ	(事業をおこなっている箇所の)計画総延長
(市道が)防災上、安全な通行が確保される。		キ	主たる市道利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当たり平均人口)
(市道利用者に)より安全に利用してもらう。		ク	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
災害時に適切な対応ができる体制を整え、被害を最小限に抑える。		名称	
		単位	
		サ	(事業を行なっている箇所のうち)十分な幅員が確保された道路延長
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円				23,373	15,420
			都道府県支出金	千 円					
			地方債	千 円	30,500	35,200	47,100	14,000	7,700
			その他	千 円					
			一般財源	千 円	10,300	11,893	16,243	6,422	2,582
	事業費計 (A)		千 円	0	40,800	47,093	63,343	43,795	25,702
	人件費	正規職員従事人数	人		6	6	6	6	4
		延べ業務時間	時 間		1,040	1,040	1,040	1,040	1,040
		人件費計 (B)	千 円	0	4,160	4,160	4,160	4,160	4,160
	トータルコスト(A) + (B)		千 円	0	44,960	51,253	67,503	47,955	29,862
活動指標		ア	m		70	155	323	165	265
		イ	%		8.10%	22.28%	42.95%	50.76%	86.97%
		ウ							
対象指標		カ	m		864	1,010	1,276	662	522
		キ	人		165	228	246	156	93
		ク							
成果指標		サ	m		70	225	548	336	454
		シ							
		ス							

事務事業ID	1153	事務事業名	防災まちづくり事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

安全な交通体系の確保と救急・救援体制の確保を図るため、各地域から道路の拡幅改良を要望され、平成元年度から事業を開始した（避難路整備事業で開始したが、平成18年度に防災まちづくり事業に事業名を改めた）。

事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

各地域の理解が進み、協力的になった。
平成21年度からは、地域活力基盤創造交付金（国庫補助率60%）を活用して整備を進めている。

この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

各地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 事業実施により、日常の安全な通行はもとより、災害時にも救急車両等の通行が確保されることから、安全なまちづくりの推進につながる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] これらの市道は全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(年度毎の実績はあるが、全区間整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない。)
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 安全に道路を利用できないし、安心して生活できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1153	事務事業名	防災まちづくり事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 良好に事業実施がなされた。																																
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																																
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																																
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☒ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、平成24年度は休止する。		☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																														
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																		
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上																																	
	維持			×																														
	低下		×	×																														
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																		

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	建設課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 良好に事業実施がなされた。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)																						
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☒ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興事業を最優先と考え、平成24年度は休止する。		☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)															
☐ 廃止	☒ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
